テーブルクリニック

大会第2日目(B会場) 10:45~11:45

歯科技工士の医科歯科連携への可能性



北海道大学病院 生体技工部 若林 侑輝

近年の歯科医療においては、デジタルデンティストリーが急速に進みつつあります。その中でもCAD/ CAMや光学印象、3Dプリンターといった新しい技術は歯科治療において大きな影響を与えていると思いま す。

北海道大学病院は2003年に医学部附属病院と歯学部附属病院が統合し、それに伴い歯学部附属病院歯科技 工室は北海道大学病院生体技工部と名称を改めました。生体技工部ではデジタルデンティストリーの進歩に 伴い2013年より現在まで複数のCAD/CAM機器や3Dプリンターが導入されており、これらの機器を日々の 業務にて有効的に活用しています。

医科分野における業務としてはエピテーゼの製作や、石膏材料の3Dプリンターを用いて実物大臓器立体 模型の製作をしています。近年ではレジン材料の3Dプリンターが導入され、石膏材料で製作できなかった 細かい脳血管模型などを製作できるようになりました。また、専用のCADソフト上でシミュレーションを 行うことで、顎変形症における上下顎骨骨切り術に使用される顎間固定用のスプリントや下顎の腓骨再建術 時に用いるサージカルガイドの製作を行なっています。さらに直近では当院の耳鼻咽喉科、放射線診断科、 口腔外科と共同で、第5のがん治療法とも呼ばれる「光免疫療法」に関するいくつかの手術器具を、3Dプ リンターにて製作しています。

デジタル化による当院における新たな医科との取り組みを含め、紹介させていただきたいと思います。



プロフィール

【ご略歴】

2018年 広島大学 歯学部 口腔健康科学科 口腔工学専攻 修了

広島大学医歯薬保健学研究科口腔健康科学専攻入学

2019年 北海道大学病院 医療技術部 特定技術部門 生体技工部 入職

2020年 広島大学 医歯薬保健学研究科 口腔健康科学専攻 修了

2021年 公益社団法人 北海道歯科技工士会理事 就任

現在に至る